

MUTOH



銘柄コード：7999

2017年3月期 決算説明資料

(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

2017年5月
MUTOHホールディングス株式会社

MUTOH :目次

【 概況説明 】

- 業績比較(1)
- P/Lハイライト(2)～(3)
- P/L分析(4)
- B/Sハイライト(5)
- セグメント情報(6)
- 【 通期業績予想 】(7)
- 【 IR基本情報 】(8)
- 【 トピックス・製品情報 他 】(9)～(14)



- ・本資料は、2017年3月期 期末時点決算情報の提供を目的としたものです。
- ・本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。また、今後予告なしに変更する場合があります。
- ・本資料のいかなる部分も一切の権利はMUTOHホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行なわないようお願い申し上げます。

MUTOH : 業績比較

百万円未満切捨て

	前年数値 2016年3月期	予想数値 17.3.27修正開示
売上高	23,449	20,420
営業利益	689	125
経常利益	622	157
(親会社株主に帰属する) 当期利益	148	△150



実績	実績差額			
	対前年		対予想	
20,493	△2,956	△12.6%	+73	+0.4%
183	△506	△73.4%	+58	+46.4%
199	△422	△68.0%	+42	+26.8%
△113	△262	-	+37	△24.7%

* 経営環境

世界経済環境は、欧米地域を中心に堅調に推移するものの、6月の英国のEU離脱決定に伴う政治、経済への根強い不信感と米国新大統領の保護主義政策による世界経済への影響などが懸念され、また、中国をはじめとするアジア新興国においても、上半期の景気減速から持ち直しの傾向にあるものの依然として不安定な状況にあります。一方、国内経済においても、雇用情勢改善傾向は継続し、消費者マインドの持ち直しなど回復基調は続いているものの、企業の設備投資には依然として足踏み傾向が見られるなど、全体として不透明な状況にあります。

* 当社グループ

当社グループは、継続して将来的な収益力向上を目的に経営基盤の強化と製品開発を推進してまいりました。

上半期には、情報画像関連機器事業における意思決定の迅速化、開発・生産・販売の一体化によるグローバル競争力の強化を目的として海外販売子会社を開発・生産拠点である中核子会社である武藤工業(株)の傘下とし、続けて、下半期には、国内営業効率と顧客サービス向上と効率化を目的に子会社(株)ムトーエンジニアリングの3Dプリンタ事業、設計製図機器販売、計測・制御機器販売、CADソリューション等の事業を同じく武藤工業(株)に移管・集約いたしました。

また、新製品としては大判インクジェットプリンタ4機種、デスクトップ3Dプリンタ1機種を市場投入し、収益拡大に向け製品ラインナップの強化を推進いたしました。

このような状況の中、業績面では、情報画像関連機器事業において、大判インクジェットプリンタ市場における全世界的な競争激化による製品価格の下落に加え、為替の円高基調の影響を大きく受けることになりました。

* 予想数値の修正について *

業績推移を勘案し、2017年3月27日に「業績修正」をいたしました。

当初予想値('16.5.15開示)対比は 右表 記載のとおりです。



	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
当初予想値	24,000	800	800	400
実績差額	△3,507	△617	△601	△513
	△14.6%	△77.1%	△75.1%	△128.3%

MUTOH : P/Lハイライト(前年比較)

(百万円未満切捨て)

	2016年3月期	2017年3月期	前年増減		概 況
			金額	比率	
■ 売上高 :	23,449	20,493	△2,956	△12.6%	・円高 ならびに 製品価格下落影響
売上原価	15,162	13,649	△1,512	△10.0%	・原価率66.6%→+1.9%
販管費	7,597	6,660	△937	△12.3%	・販売費△471百万、一般管理費△465百万(内、開発費△348百万)
■ 営業利益 :	689	183	△506	△73.3%	
営業外収支	△67	+16	+83		
■ 経常利益 :	622	199	△422	△67.9%	
特別利益	146	53	△92		・投資有価証券売却益52百万円 他
特別損失	32	149	+117		・投資有価証券評価損109百万 他
(親会社株主に帰属する) ■ 当期利益 :	148	△113	△262	-	

・減価償却費:482百万、開発費:1,232百万(△348百万)

・決算換算為替:US\$ 108.34円(対前年11.80円 円高)、EUR118.74円(対前年13.85円 円高)

MUTOH : P/Lハイライト(計画比較)

(百万円未満切捨て)

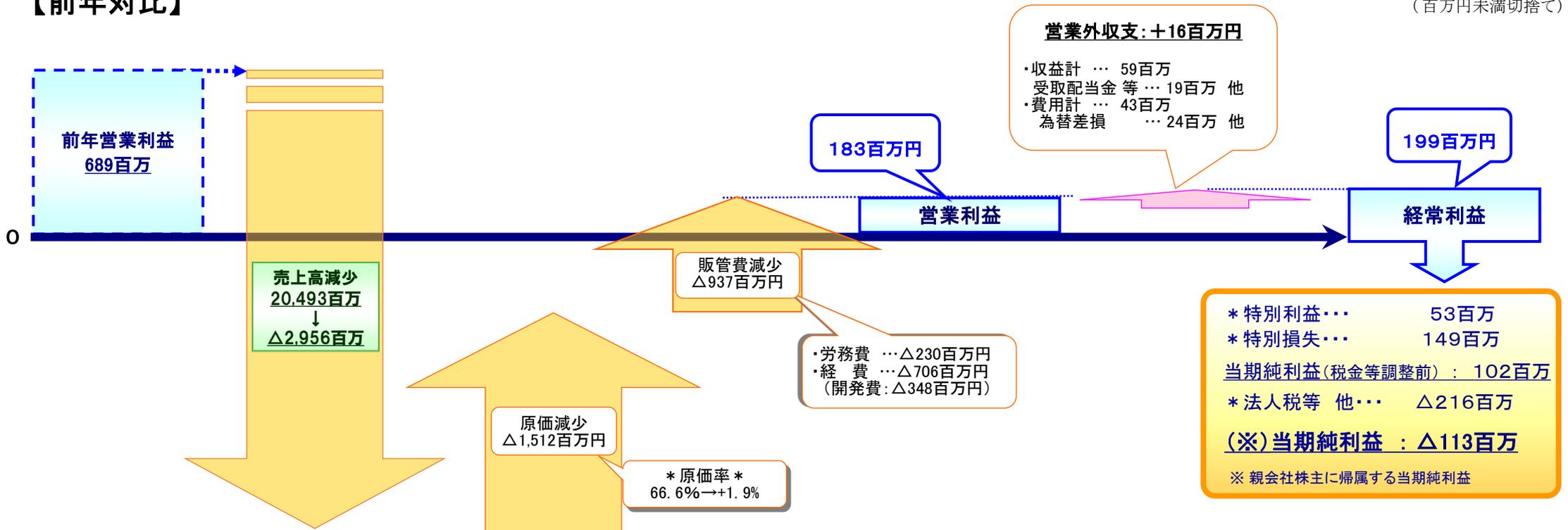
	2016年3月期計画 (17.3.27修正開示)	2017年3月期	計画増減		概況
			金額	比率	
■ 売上高 :	20,420	20,493	+73	+0.4%	
売上原価	13,685	13,649	△36	△0.3%	・原価率66.6%→△0.4%
販管費	6,610	6,660	+50	+0.8%	
■ 営業利益 :	125	183	+58	+46.4%	
営業外収支	+32	+16	△16		
■ 経常利益 :	157	199	+42	+26.8%	
特別利益	25	53	+28		・投資有価証券売却益52百万円 他
特別損失	135	149	+14		・投資有価証券評価損109百万円 他
(親会社株主に帰属する) ■ 当期利益 :	△150	△113	+37	-	

・決算換算為替：US\$対計画 0.34円 円安（計画値 108.00円）、EUR対計画 4.26円 円高（計画値 123.00円）

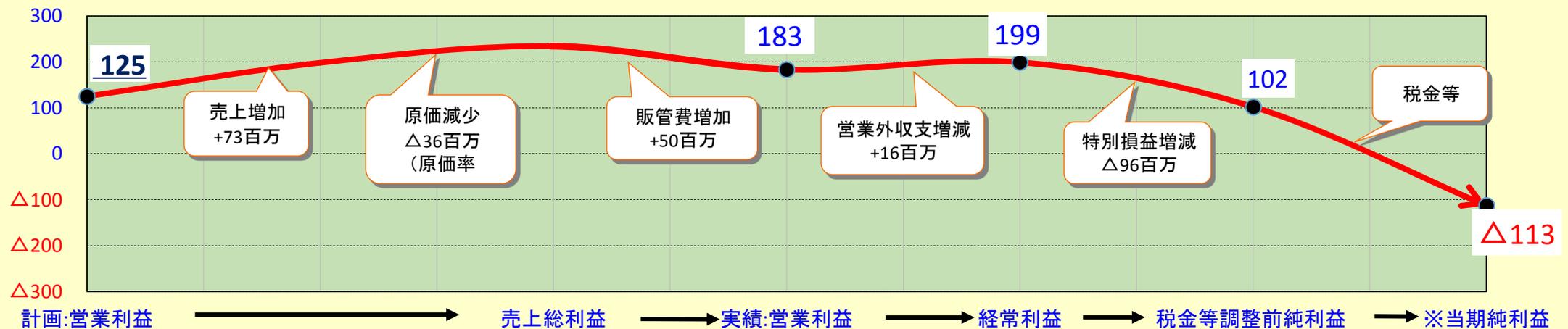
MUTOH : P/L分析(イメージ)

【前年対比】

(百万円未満切捨て)



【計画対比(対、修正値)】



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

MUTOH : B/Sハイライト

(百万円未満切捨て)

区分	2016年3月期	2017年3月期	前期末増減		概況
			金額	比率	
現預金	8,775	8,796	+21		・営業CF:+797百万円、投資CF:△246百万円、財務CF:△394百万円 ・売掛金:△542百万、受取手形:△6百万 ・部品、仕掛:△185百万、製商品:△59百万 ・未収入金:△155百万 他
売掛債権	4,570	4,020	△549		
在庫	4,948	4,702	△245		
その他	1,352	1,169	△183		
■ 流動資産計 :	19,645	18,689	△955	△4.9%	
有形固定資産	8,867	8,578	△288		・新規投資:192百万、減価償却:482百万 他 ・投資有価証券:+55百万、繰延税金資産:+47百万 他
無形固定資産	299	272	△26		
投資その他資産	2,889	2,973	+84		
■ 固定資産計 :	12,055	11,824	△231	△1.9%	
■ 資産合計 :	31,701	30,514	△1,186	△3.7%	
買掛債務	3,253	2,817	△435		・買掛金:△317百万、支払手形:△118百万 ・未払法人税:△133百万 他
短期性借入金	-	-	-		
その他	2,185	2,032	△153		
■ 流動負債計 :	5,438	4,850	△588	△10.8%	
長期性借入金	-	-	-		・退職給付に係る負債:+130百万 他
その他	2,345	2,180	△165		
■ 固定負債計 :	2,345	2,180	△165	△7.0%	
■ 負債合計 :	7,783	7,030	△753	△9.7%	
■ 純資産合計 :	23,917	23,484	△433	△1.8%	・自己資本比率:74.3%→+1.3%
■ 負債・純資産合計 :	31,701	30,514	△1,186	△3.7%	

MUTOH : セグメント情報

①. 売上高

(百万円未満切捨て)

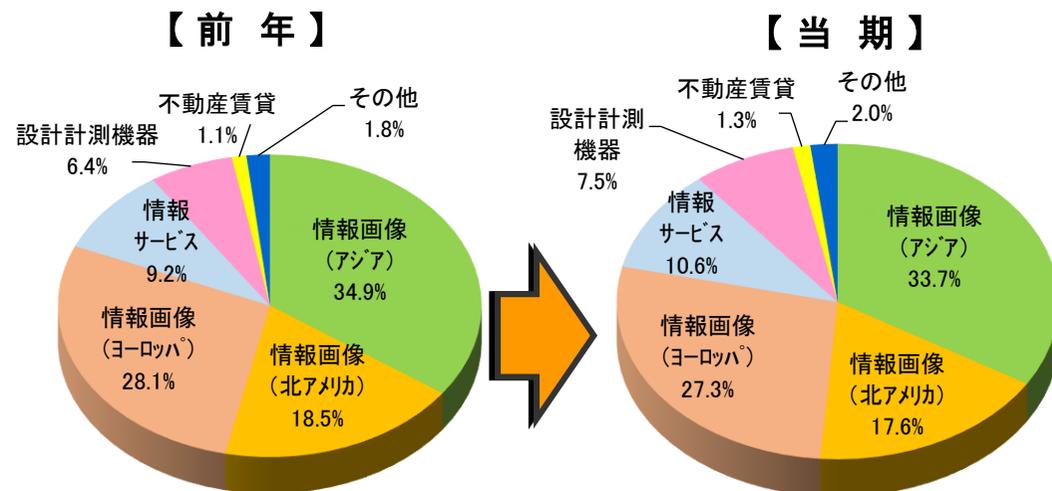
	2016年3月期		2017年3月期		前年増減	
アジア	8,171	34.9%	6,896	33.7%	△1,275	△15.6%
北アメリカ	4,346	18.5%	3,609	17.6%	△736	△16.9%
ヨーロッパ	6,578	28.1%	5,598	27.3%	△980	△14.9%
情報画像関連機器計	19,096	81.4%	16,104	78.6%	△2,991	△15.7%
情報サービス	2,163	9.2%	2,171	10.6%	+7	+0.4%
設計計測機器	1,512	6.4%	1,546	7.5%	+34	+2.2%
不動産賃貸	259	1.1%	263	1.3%	+3	+1.5%
その他	417	1.8%	406	2.0%	△10	△2.5%
合計	23,449		20,493		△2,956	△12.6%

②. セグメント利益

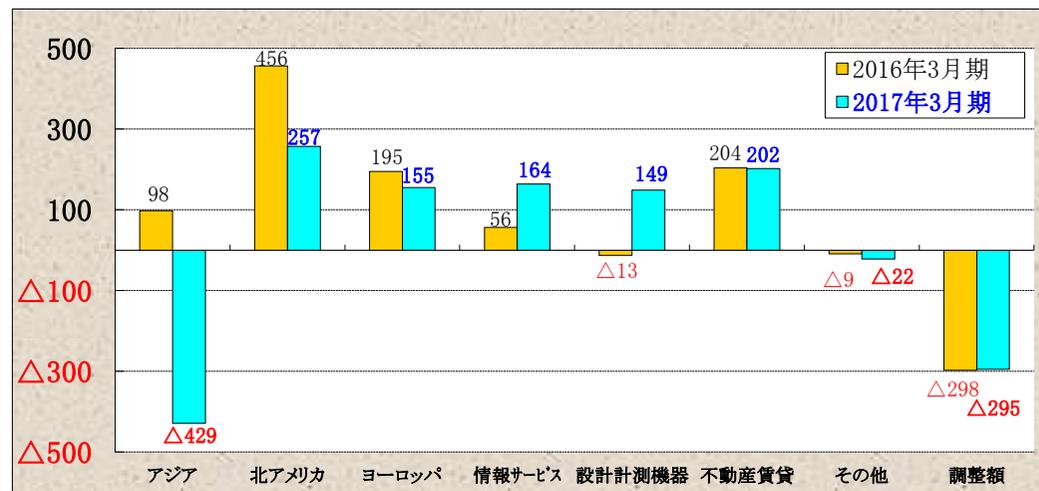
(百万円未満切捨て)

	2016年3月期		2017年3月期		前年増減	
アジア	98		△429		△527	-
北アメリカ	456		257		△198	△43.5%
ヨーロッパ	195		155		△39	△20.4%
情報画像関連機器計	750		△15		△765	-
情報サービス	56		164		+108	+191.0%
設計計測機器	△13		149		+163	-
不動産賃貸	204		202		△2	△1.3%
その他	△9		△22		△12	-
調整額	△298		△295		+3	-
合計	689		183		△506	△73.5%

【売上高】



【セグメント利益】



MUTOH : 通期業績予想

【連結業績】

単位:百万円

	実績 2017年3月期	次年度予想		
		2018年3月期	前年実績差額	
売上高	20,493	21,100	+607	+3.0%
営業利益	183	420	+237	+129.5%
経常利益	199	420	+221	+111.1%
(親会社株主に帰属する) 当期利益	△113	250	+363	-

【配当予定】

単位:円

	2017年3月期		2018年3月期	
	当初予定	実績	予定	前年差額
中間	0.0	0.0	0.0	-
期末	7.0	3.5	35.0	

①2017年3月期配当について:

3月27日に直近の業績推移等を勘案し、配当予定額の修正を行ないました。

②2018年3月期配当予定について:

平成29年10月1日を効力発生日として株式併合(普通株式10株につき1株の割合)を実施する予定であるため、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の1株当たり期末配当金年間予定額は、3円50銭となります。

連結業績について

- 経営環境 -

世界経済は欧州、中東、東アジアに広がる地政学リスクの影響など、先行きに不安定な要素は払しょくされておられません。このような不透明の中、経済では欧米を中心に緩やかな拡大傾向を示し、我が国経済においても回復傾向が続くとみられております。

- 当社グループ -

主力の大判インクジェットプリンタ事業においては、製品構成を成長市場であるインダストリアル・テキスタイル分野を中心に製品投入を図り、欧米ならびに日本市場を中心に営業活動を見直し販売活動を強化してまいります。また、3Dプリンタ事業においては、収益力の高い業務用製品や自社製品への販売強化を図ってまいります。

これらの販売強化策に加えて、物流構造改革に取り組むことで抜本的なコスト削減に取り組んでまいります。

以上により、2018年3月期の連結業績は、対前年増収増益を見込みます。なお、第2四半期累計期間における業績予想は、売上高100億円、営業利益50百万円、経常利益50百万円、(親会社株主に帰属する)当期純利益20百万円を見込みます。

次期予想における為替レート

* 第2四半期累計期間平均

USD:110.00円 / EUR:118.00円

* 年間平均

USD:108.00円 / EUR:116.00円

MUTOH : IR基本情報

①.会社情報

会社形態	前年	当期	次期予定
組織形態	監査等委員会設置	←	←
取締役定款枠(除、監査等委員)	10名	←	←
同上、取締役数	8名	7名	←
内、社外取締役	0名	1名	←
監査等委員取締役定款枠	4名	←	←
監査等委員取締役数	3名	←	←
内、社外監査等委員取締役	2名(独立)	2名(独立)	←
1単元株式数	1,000株	←	100株
買収防衛策の導入	未導入	←	←

*1単元株式数、次期予定…本年10月1日付で変更を予定しております。

②.資本/株式情報

株式情報	前年	当期	次期予定
発行済株式数	千株 54,818	54,818	5,482
自己株式	千株 8,935	8,950	895
直近(自己株式控除後)	千株 45,883	45,868	4,587
自己株比率	16.30%	16.33%	←
時価総額(自己株式控除後)	百万円 10,691	11,054	

*次期予定…本年10月1日を効力発生日として株式併合実施予定のため、当該株式併合を考慮しております。

株価情報①	前年	当期
期末株価	円 233	241
決算年度安値	円 197	203
決算年度高値	円 448	286

③.決算情報

BS情報	前年	当期
現預金+有価証券	百万円 8,775	8,796
投資有価証券	百万円 2,150	2,206
総資産	百万円 31,701	30,514
金融資産比率(金融資産÷総資産)	34.5%	36.1%
自己資本比率	72.9%	74.3%

株主構成	前年	当期	
		株主数	株主比率
単元株主数	政府公共団体	0名	0.0%
	金融機関	24名	0.3%
	事業法人	126名	1.7%
	証券会社	18名	0.3%
	外国人	52名	0.7%
	個人	5,630名	79.0%
	計	5,850名	82.0%
単元未満株主数	1,365名	1,288名	18.0%
株主数合計	7,215名	7,170名	100.0%
参考:外国人持株比率	1.74%	1.69%	

*除、自己名義

株主還元情報	前年	当期	次期予定
配当金/1株	7.0円	3.5円	35.0円
配当性向	% 217.0	-	64.2
配当利回り	% 3.0	1.5	
株主資本配当率(DOE)	% 1.4	0.7	

*次期予定…本年10月1日を効力発生日として株式併合実施予定のため、当該株式併合を考慮しております。

株価情報②	前年	当期
株価収益率(PER)	倍 72.2	-
株価純資産倍率(PBR)	倍 0.5	0.5

PL情報(収益性)	前年	当期	次期予定
営業利益率	% 2.9	0.9	2.0
経常利益率	% 2.7	1.0	2.0
当期利益率	% 0.6	-	1.2
株主資本利益率(ROE)	% 0.6	-	
総資産事業利益率(ROA)	% 2.2	0.6	



『Wide Format & Signage Magazine』 読者が選ぶ “Top Product Awards” を受賞

Output Device: Hybrid Printer Category
(出力デバイス部門:ハイブリッドプリンタカテゴリー)



Output Device: Textile Printer Category
(出力デバイス部門:テキスタイルプリンタカテゴリー)

VJ-1638UH

- UV-LED ハイブリッドプリンタ -

MUTOHのプリンタは

世界の多くのお客様から賞賛されています。

VJ-1938TX

- ダイレクトテキスタイルプリンタ -



Wide Format & Signage Magazine : アメリカの大判デバイス専門誌。

この賞は、毎年世界中のWFSマガジン読者・印刷サービスプロバイダ・業界および同誌の編集スタッフにより150以上の製品がカテゴリーごとにノミネート。読者の投票により決定される。

コンパクトDLP®光造形3Dプリンタ「ML-48」]NEW オプション 高速造形樹脂材



新開発の樹脂とブラックキャノピーで
従来の5倍の造形スピードを実現!
(当社比)



高速造形
5倍速
▶▶▶▶▶

設計からデザイン検証までを効率的に行うことができます



安心の国産3Dプリンタ

万全のサポートサービス・使いやすい日本語対応ソフト



次世代型UVフラットベッド・プリンタ 誕生！

VJ-626UF

(A2ノビサイズ対応)

コンパクトなボディサイズ!

ギフト・ノベルティ業界や工業印刷用途など、
少量多品種のオンデマンド印刷に最適!



- 安全設計のフルフロントカバー
- 多様な印刷ニーズに対応した自動テーブル昇降機構
- 障害物センサーで精密な印刷コントロール
- LED ポインターで簡単&素早く印刷スタート
- 作業効率をアップする専用オプションスタンド

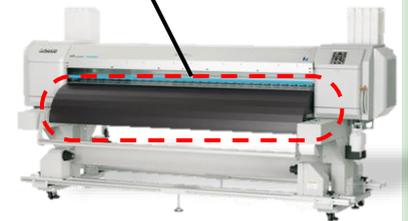
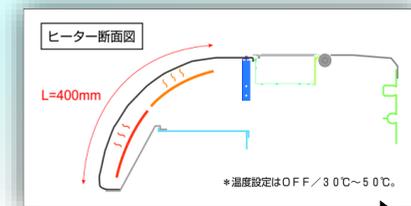
時代を切り拓く、昇華転写プリンタ誕生! VJ-1948WX

飛び抜けたプリントスピード!
- プリントヘッド4個をスタガ配列 -

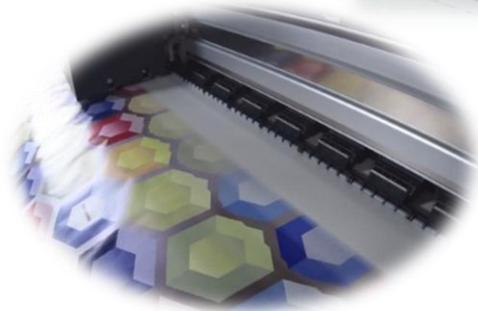


飛躍的な生産スピード!
- 大型デュアルヒーター内蔵 -

スピードに自信あり!



新しい時代の昇華転写プリンタ!



SMART PRINTING TECHNOLOGY

より鮮やかに、使いやすく!
コストパフォーマンスを高める、独自のプリンティングテクノロジー!

ドロップマスター技術

インク吐出タイミングの自動補正により、メディアに依存する煩わしい調整作業を軽減する自動化印刷技術。



Intelligent Interweave

インクジェットの弱点ともいえる横筋(バンディング)を目立たなくし、様々なメディアや多様な品質に応えるオリジナルプリント技術。



自動カラーマネージメント

メディアをプリンタにセットしたままカラーパッチの作画、測色、RIPへのデータ送信を自動化。複数のメディア、および、経時的な色ズレのトラッキングが可能。

測色器「VM-10」



「ColorVerify」

Valuejet Status Monitor

MUTOHプリンタの性能を最大限に引き出し、また、お客様のワークフローを容易にします。



単元株式数変更ならびに株式併合のお知らせ

MUTOHホールディングス株式会社

当社は、当社普通株式の単元数を変更するとともに、全国証券取引所が望ましいとしている投資単位(1単元株式数当たりの金額)の水準(5万円以上50万円未満)および中長期的な株価の変動等を勘案し、投資しやすい環境を整えることを目的として、株式併合を実施いたします。

なお、変更および併合に伴い「株式優待制度」も同様に制度変更いたします。

詳しくは、同日(5月19日)付の開示情報をご覧ください ⇒ <http://www.mutoh-hd.co.jp/>

1.単元株式数変更ならびに株式併合の概要:

- ・単元変更…当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。
- ・株式併合…株式10株につき1株の割合で併合いたします。
- ・実施時期…平成29年10月1日～
- ・実施条件…本年6月予定の第68回定時株主総会において所要議案の承認可決。

2.「株式優待制度」変更の概要:

- 株式併合と単元株式数変更に伴い、株式優待制度を以下のとおり変更いたします。
- ・対象株主…1,000株以上保有株式様を100株以上保有株式様へ変更いたします。
- ・所有区分…現在の所有区分の所有株式数を各々①100株以上～500株未満、②500株以上～1,000株未満、③1,000株以上へ変更いたします。

MUTOH

ディスクロージャーポリシー

■ディスクロージャーの方針

当社は、株主・投資家の皆様に正確かつ公平な情報を提供するため、金融商品取引法および東京証券取引所の定める適時開示規則に基づく重要事項を迅速に公開するほか、当社を理解していただくうえで有効と考えられる会社情報につきましても、積極的に開示するように努めております。

■情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する重要情報の開示は、東京証券取引所への事前説明の後、東京証券取引所の提供する適時開示情報開示システム(TDnet)にて公開しております。

公開後は、速やかに開示情報を報道機関に提供し、また当社ホームページ上にも掲載いたします。

また、東京証券取引所の適時開示規則に該当しない情報を開示する場合にも、報道機関や当社ホームページなどを通じて、株主・投資家の皆様にできるだけ公平かつ迅速にお伝えできるように努めております。

■将来の見通しに関して

当社では、東京証券取引所に提出する業績予想や、当社ホームページに記載しております当社の業績予想、計画、戦略など将来の業績に係る見通しについては作成された時点で入手可能な情報に基づき一定の前提の下で当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

したがって、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

■沈黙期間について

当社では、決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、本決算、中間決算、四半期決算の決算期日の翌日から決算発表日までを沈黙期間としております。

この期間は、決算に関するコメント・質問への一切の回答を控えさせていただきますのでご了承ください。

ただし、沈黙期間中に「ディスクロージャーの方針」に基づく情報開示が必要になった場合は、上記の「情報開示の方法」により速やかに情報開示を行います。

■情報開示をお断りする場合

当社では、競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報に関するお問合せにお答えできない場合がありますのでご承知ください。

МУТОН